

クロオビツツハムシ神戸市内に産す

(兵 庫 県 甲 虫 相 資 料 ・ 2 5 7)

高 橋 寿 郎

クロオビツツハムシ *Physomaragdinia nigrifrons* (Hope) は兵庫県下での記録は大変少く筆者は本誌 Vol. 16, No.2 にて相生市三濃山、龍野市神岡町、飾磨郡夢前町我孫子の3ヶ所が知られているだけであるむね報告しておいた。いわゆる真夏のハムシであり猛暑の中での調査をやっていないものだからその後の記録も見られないし新しい産地の報告も無いようである。1990年7月26日蜂谷幸雄氏は神戸市須磨区多井畑のススキの葉上から1頭を採集された(標本筆者保管)。このあたりにもいると云うことは可成り広く県下の海岸線ぞいには分布している種ではないかと思うのだが何分にも調査が思うように出来ていない。注意して頂きたいハムシである。

(訂正) 本誌Vol. 17, No.2 に記録したアラメクビボソトビハムシ *Pseudliprus nigrinus* (Jacoby) はその後大野正男教授から注意を受け再度調べて見た所これ等はクビボソトビハムシ *P. hirtus* (Baly) の全体黒色のものであったので此処に訂正させて頂く。

県関係機関誌・連絡誌

(1 9 9 0 ・ X — 1 9 9 1 ・ III)

； 混蟲ずかん (但馬むしの会連絡誌)

No.26 (1990・Ⅸ)。No.27 (1990・ⅩⅡ)。No.28 (1991・Ⅱ)。

の せ (大阪昆虫同好会連絡誌)

Vol. 19, No.9, 10, 11, 12 (1990・Ⅸ～ⅩⅡ)。Vol. 20, No.1 (1991・Ⅰ)。

Crude (大阪昆虫同好会々誌)

No.34 (1990・ⅩⅡ)。

自然とともに (県環境管理課・自然保護係)

No.12 (1990・X I)。No.13 (1991・II)。

n/k通信 (ネイチャーアソシエーション)

No.07 (1990・X II)。

交換誌

蝶類年鑑1990。蝶研出版 (1991・III)

るりぼし15。水戸昆虫研究会、1990 (1991・III)

編集後記

- 本年も暖かい冬の様でした (2月下旬強い寒気団の来襲はありましたが)。また昨年のような猛暑の夏になるのでしょうか。本誌がお手許にとく頃が虫にとって一番面白い時期になっている様に思います。御活躍を祈ります。
- Vol. 19, No.1 やっと出来てホットしています。今号も貴重な記録の投稿を頂き有難う御座いました。結構まだ身近の所にも珍しい虫、初めて出会う虫がいるようです。だから調べる楽しみがあるのだと思います。多少にかかわりませず記録の御投稿御願ひ致します。
- 次号Vol. 19, No.2 は11月中にお手許にとどけられるよう発行したいと考えています。 (T)